

武藤虎太

慶応3(1867)年、菊池郡戸崎村に熊本藩士武藤一忠の長男として生まれた。1895(明治28)年東京帝国大学文科大学国史科を卒業。第五高等学校教授。第二高等学校教授、同校長を務め、1920(大正9)年より、2年間欧米を視察した。1921(大正10)年、第四高等学校校長となり、のち第五高等学校校長に転じた。退官後は、第五高等学校名誉教授を受けた。その他、維新資料編纂会委員を務めた。昭和9(1934)年没。(ウィキペディアより)

大塚惟一

大塚惟精の父(惟精は長男)。細川侯爵家に仕え、花岡邸に務めた書家。



新 修 豊 岡 小 学 記

教化之設非王政之本興三代盛時天子有辟雍諸侯有泮宮鄉有庠序家有塾所レ以教士者備矣漢魏隋唐皆因之皇朝倣唐制京師建大學諸レ設國學而名門右族亦各有家學中レ立武門擅權父教聿衰矣迨およぶ王政維新百度更張首興學校自大學中學小學至於農工商醫專門之學莫不備篤教化遍遐とおい遍蓋亦盛矣我東肥豊岡之地在縣治之東北戸數三百人口千五百レ既建小學而四民深重教化兒童就學者日多校舍告溢梁棟亦漸圯しだいにやぶれる坂本校長就任沈慨之謀諸村長委員有志者士民咸樂趨おもむく事奮投私貲たから二千金乃修

■ 舍建附屬室二棟教室一棟めぐる繚めぐ■ 垣起工于明治三十四年四月吉竣于三十六年十一月堂室門廡ひまじさんぜん粲然改觀矣抑小學教化之根抵也後之學于此者三致思於先輩所以經營斯校この之意講其德行習其學藝更進究諸道專門之蘊つむ奧則其所レ以報本者足矣詩云濟々多士文王レ以寧抑亦所以報君國也而三代之教王朝之化レ足言而已

正六位 武藤虎太 謹撰

大塚惟一 謹書

- 村長 井本源次郎
- 學校長 坂本熊喜
- 新築委員長 齊藤平吾
- 右 同 山田有成
- 區長 齋藤龜五郎
- 新築委員 橋本靄次
- 同 右 五島市太郎
- 新築委員 島田眞平
- 右 同 坂本初太郎
- 右 同 齊藤貞次
- 右 同 青木新九郎
- 右 同 村上芳平